

生駒高校新聞

発行所
奈良県立
生駒高等学校
新聞部
(0743) 77-8084

印刷所
昭文社



卒業する皆さんへ

校長 八重 幸史

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本校入学から今日までのたゆまぬ努力と成果に敬意を表します。あらゆる教育活動に全力で取り組み、「真面目に一生懸命頑張ることが格好しい」という校風を、皆さんは実践してくれていました。

本校は昭和三十八年(一九六三年)四月に開校し、創立五十八年の歴史を刻み、卒業生も二万人近くを数え、国内外において活躍されています。皆さんは生駒高校の良き伝統を継承し、素晴らしい環境と校風のもとで三年間多くのことを学び、体得してくれました。本日は、先生方や仲間とともに過ごしてきた思い出を胸に母校を巣立って行く日です。三年間、ともに笑い、喜び、悩み、泣き、助け合ってきた仲間との深く繋がった絆をいつまでも忘れることなく、同窓の誇りを胸に歩んでいくことを信じています。同窓生としての「チーム生駒」は卒業後も永遠に続きます。

さて、皆さんが過ごしてきたこの十年間の出来事を振り返ってみましょう。二〇〇八年に、iPhoneが日本国内において販売が開始されました。この年以降、スマートフォンが急速に普及し、二〇一〇年には九・七%であった普及率が二〇一三年には六二・六%まで普及し、二〇一八年には普及率は七九・二%となっています(総務省の調査による)。手軽なインターネット機器を持つことにより、私たちは多くの情報を容易に入手できるようになり、生活は一変しました。

二〇一一年三月に東日本大震災がありました。同じ年の九月には台風三十号による紀伊半島大水害が発生し、奈良県も大きな被害を受けました。また、二〇一八年には台風二十一号が近畿地方を直撃し、本校グラウンドにあった野球のバックネットが倒れるという被害を受けました。近年、「五十年に一度の大雨」と言われる豪雨が頻発しています。自然の猛威と、いつ起こるか分からない災害に備えておく必要があります。

そして、昨年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、現在、人類が直面している最も大きな課題です。感染症対策のため、昨年は本校においても在宅教育が行われ、文化祭や体育大会も中止することになりました。今まで経験したことのない感染症への対応で、私たちは正解のない問題に取り組むことになりました。

皆さんは、本校を卒業したのちも、社会がどんどん進化していく中で、常に学び続けることが求められます。この二十年間をみても、社会は進化し、パソコンやスマートフォンを使えないことは大きな不便となっています。また、正解がない問題に対しても、何らかの答えを導かなければなりません。そんなときに必要なのは「知識」ではなく、物事を考える「知恵」です。思考力、判断力、表現力という「学力」が必要となります。それらを身に付けるためには、本を読むこと、様々なことに挑戦し多くのことを体験すること、多くの人と交流し意見を交わすことが大切です。そして、何よりも大切なのは、学び続けるという姿勢を持ち続けることです。学ぶ場所は学校だけではありません。常に学ぶという意欲を持ち続けてください。

皆さんが本校在籍中に、時代は「平成」から「令和」に変わりました。年号が変わることで、私たちの心の中にも新しい時代への希望と新しいものに挑戦しようとする気持ちが生まれたように思います。令和三年、皆さんが、新たな気持ちで次のステージに旅立たれることを心から嬉しく思うとともに、皆さんの新しい挑戦と活躍を心から祈っています。これからも、生駒高校は、皆さんが落ち着く、安らぎを覚える場所として存在します。いつでも、母校生駒高校に帰ってきてください。

卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。慈しみ大切に育ててこられたお子様の立派な成長されました姿に感慨もひとしおのこととご推察申し上げます。お子様の入学以来三年間にわたり本校教育活動にご支援ご協力を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。今後も引き続き、お力添えのほど、よろしくお願いいたします。

三年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。先輩方と過ごしてきた日々の中で、私達は先輩方の勇姿を見てきました。部活や委員会などで私達を引っ張ってくださった姿。今年度は残念ながら中止となりましたが、体育大会や文化祭で全力を尽くし、取り組んでいる姿。その姿を見て「あのような先輩になりたい」と思った一・二年生も多々あります。私達にとって先輩は憧れの存在です。さて、先輩方のご卒業後、それぞれの道を歩まれると思います。その途中で壁に当たり、苦しい思いをする時が来るかもしれません。しかし、私達や先生方は、先輩方一人ひとりを遠くから応援しています。安心して壁に挑戦し、未来に進んでください。最後にになりましたが、先輩方、今までありがとうございました。在校生一同、ご卒業後のご活躍をお祈りします。

三年生の先輩方へ

生徒会代表 葵 昌倫

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本校入学から今日までのたゆまぬ努力と成果に敬意を表します。あらゆる教育活動に全力で取り組み、「真面目に一生懸命頑張ることが格好しい」という校風を、皆さんは実践してくれていました。

生駒アルバム

三年生の思い出



今年度の一年生・二年生

卒業記念品

旧体育館 暗幕 一式

大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

蛙鳴蟬噪

芸は身を助く。職員室一のパソコンオタクである私に、突如その特技を発揮する機会がやってきた。▼コロナ禍で、学校でもパソコン関連の仕事が増えた。私に白羽の矢が立ったのは、インターネットに多少詳しく、なおかつ他の重要な役割に当たっていない人間が他にいなかったからだろう。機材やアプリの使い方を聞かれたり、学校説明会用の動画制作を頼まれたり。その報酬としてお菓子ももらう。デスクの引き出しに大量のお菓子が増えていくことは、信頼の証のようで素直にうれしくもあり、今まで顧みられることもなかった芸事がにわかに脚光を浴びてしまったことへの気恥ずかしさもある。▼私がパソコンを始めたのは、仕事に役立てようという理由からではなかった。大学時代に、美術部の先輩に影響され、見よう見まねで映像作品を作り始めた。二か月の長い夏休みを全部ゲーム制作につき込んだりもしていた。熱中しすぎて怒られたりもした。それでも続いていたのは、やはり好きなことだったからだろう。▼自分のためだったことが、いつしか他人のためにもなっていく。隣の席の先生から、パソコンについて聞かれ、答える。それが周りに広がり、いろんな人が使い方を聞きに来るようになる。そのうち、「あいつなら何とかしてくれるかもしれない」ということになる。聞ける相手が私くらいしかないなら、私が簡単に「わかりません」と投げ出すわけにもいかない。そうやって調べるうちに、身につくこともある。自分の「これだけできること」が、他の人の役に立つことで自信になり、さらに「できること」を増やしていく。人付き合いが苦手な私にとって、パソコンのモニターは自分と他者をつなぐ小窓だったのかもしれない。▼世の中が変わるとき、求められる資質も変わる。変化の時代は、あらゆる資質が輝く可能性がある。あなたは、あなたの「できること」で世界に居場所を作っていく。その「できること」は、一生をかけて増えていく。これから広い世界に旅立つあなたが、「できること」で他人を少しだけ助けられますように。そんな幸福を、願っている。

三年生の先生方より贈る言葉

学年主任 市原敬子先生

人生は選択の連続。あの時あの瞬間の選択ミスに気付くことがあっても起死回生の好機は必ず巡ってくる。この生き方を貫くためには、知性的であることが必要不可欠だと私はいつも思っている。

だから私の「学び」は様々な姿を変え永遠に続く。皆と共に過ごした三年間は正に「学び」の連続だった。教員の醍醐味はこの点にある。皆の姿から実に多くのことを学んだ。考えさせられることも多くあった。緑学年の皆、心強い仲間緑学年の先生方。感謝。感謝。感謝。

「高校の先生になるぞ」という過去の決断が自己の成長に繋がる良き選択だったのだと再確認することができた。本当にありがとう。覚えておいてください。現代文の授業で共に学んだ鷲田清一氏著『社会の壊れる時』を。コロナ禍の今こそ再読一興。示唆に富む内容だ。そして人生という長き旅の同伴者は「知性」「自己理解への努力・複雑さへの耐性・寛容の精神」だと教えてくれている。門出に打って付けの美文だ。卒業おめでとう。一陽来福。

集中している時は、心がここにあり、安定する傾向があります。変化の年二〇二〇年を乗り越えた皆さん。どうか、「中今」、「今」を大切に、激動の二十一世紀を生き抜いてください。

二組担任 古川雄理先生

卒業おめでとう！

この三年間、どんなにつらくても自分の目標のため努力を惜しまない姿を見てきました。この三年間、近くにはご家族をはじめ、たくさん支えてくれる人がいました。しかし、これだけ大きく成長できたのは、紛れもなく「君たち」のたゆまぬ努力があったからです。胸を張って卒業してください。

これから君たちは様々な道を進みます。残念なことには温かく叱ってくれる家族や先生はそこにはもういません。つまり自分自身で道を選び切り拓かないといけません。平坦な道や険しい道、先が見えない道もあるかと思いますが、どうか自分が一番成長できると思う道を、自信を持って選んでください。きっと君達ならそれができる！

二組担任 安見秀夫先生

卒業するみんなに、次の句を送ります。

「君看双眼色(きみみよそうがんのいろ) 不語似無憂(かたらざればうれいなきにたり)」
澄んだ瞳を感じられる人になってください。

三組担任 本庄禎先生

卒業おめでとうございませす。皆さんに饒なことをふたつ贈ります。ひとつは、「なにがなんでもやりとおす」。少し大きめの目標を持って、大切な時間を積み重ねてください。もうひとつは、「やればできる」。目の前に横たわる面倒なこと、難しいこと、嫌なこと……そんなことから逃げないで、諦めないでください。さあここから、「やればできる」そして「なにがなんでもやりとおす」を積み重ねて、あなたのなりたい自分をめざしてベストを尽くそう。

三組担任 北野定雄先生

御卒業おめでとうございませす。

いよいよ未知の大海への船出です。ある沖繩の漁師さんの言葉です。「遠洋の漁場に出ようと覚悟を決めると、風が起き、帆がざわめき、波が立つてくる。だが、まだ覚悟が決まらない船には風が起き、のよ。人生もまた然りです。これから大小さまざまな波(苦難)を乗り越えていく事になります。この様々な波(苦難)を素直に受け入れ、この波(苦難)に感謝の念を持つことは、その局面を打開する大きな力となり人間力を高めます。

「花は香り、人は人柄」どんな事に出くわしても潰されなない人間力を身につけ、精神爽奮精神を爽やかに奮い立たせる。個人的な魅力ある人生を歩んでください。

四組担任 國井祥平先生

卒業おめでとうございませす。

皆さんが新しい制服を着て入学されてから三年が過ぎました。私自身も皆さんと一緒に一年生から三年間進級し、共に成長できたことをうれしく感じています。皆さんは、この三年間でどのように成長できたでしょうか。今年度は大変なことが多くあり、思ったように過ごせなかったと残念に感じている人も多いのではないのでしょうか。しかし、雨でぬかるんでいる方が足跡はくっきりするものです。自分の足跡を確認し、大きく前へ進めるように頑張ってください。

五組担任 藤本紗庫子先生

卒業おめでとう。これからおとなになるみんなには、自分に物事を変える力があることを信じて進んでいってほしいと思います。環境問題や経済格差、パンデミックなど、世界にはたくさん大きな問題があります。自分一人では何もできないと思っても、自分一人では何となく、自分一人の力でも解決への一歩になると信じて、行動してほしいです。どんな行動をしたら良いかは、学校で学んだ知識と勉強方法を駆使して、自分で考えることができるはず。そのために

勉強してきたんですから。同じ社会の一員として、みんなと未来を作っていききたいです。

五組担任 植田健吾先生

卒業おめでとうございませす。

生駒高校での三年間はとても充実した日々を送られたことでしょう。これからの生活もより充実したもので、より楽しいものになることを期待しています。
好きこそ物の上手なれ
これが好きだというものに打ち込んで、これからの生活を充実させてください。いろんな経験、人との出会いが成長させてくれるのだらうと思います。
努力は夢中に勝てない
時間を忘れるくらい好きなことに没頭しよう。「頑張らなくちゃ」で苦しむよりも、「夢中」になっていると、実力もグングン伸びるんじゃないかと思えます。
大切なことは、まずは誰よりもよく好きになって、くらくら夢中になること。またどこかで好きなことで成長した姿をみることができるとを楽しみにしています。

六組担任 村田真一先生

卒業おめでとうございませす。高校の三年間、振り返ればあつという間だったのではないですか。色々なことがありましたね。警報発令の中で九州修学旅行。百年に一度のCOVID-19の感染拡大と在宅教育。学校行事も中止で良い思い出作りが出来なくて残念です。

六組担任 山本雅先生

卒業おめでとう。

教室に掲示したり、配布したりしたメッセージの一部をここに再掲しよう。卒業後の人生に役立てば幸いです。
Undaunted
あんどーんつう
Lost time is never found

again.
— Benjamin Franklin
Control your destiny or someone else will.
— Jack Welch
最後に、「新たなものを」。"Twenty years from now you will be more disappointed by the things you didn't do than by the ones you did do. So throw off the bowlines, sail away from the safe harbor. Catch the trade winds in your sails. Explore. Dream. Discover."
— Quoted in P.S. I Love You, compiled by H. Jackson Brown Jr.
茫洋たる大海にのり出せ。誰かが必ず待っている。

七組担任 高橋庸子先生

「桜色のはなし」

三年生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんと出会ったのは二年前。最初の学年集会で桜の話をしたのを覚えていますか。大岡信さんの『言葉の力』という文章に出くわります。桜は開花直前、樹全体を桜色に染めて、あの美しいピンクの花を咲かせるそうです。みなさんもこれからの人生の中でたくさん花を咲かせたいと思いませんか。そのためには見えない部分での膨大な準備や努力が必要です。また、一見無駄に見えるものの中にも「花」に結びつくものがあります。頑張ってきたことは決して無駄ではない。たくさん良い出会いをして、豊かな人生の花を咲かせてください。

八組担任 前川嘉徳先生

卒業おめでとう。

生駒高校での三年間は、充実していましたが、勉強は言うに及ばず、学校行事やクラブ活動に仲間と打ち込んだ日々は、今後の人生にとっても単なる三年ではないと思えます。来年度を迎える私にとっても、担任として最後を飾るに相応しい、思いの深い三年間でした。「ありがとう」。
今後は、それぞれの向かう道は分かれますが、自分の「強み」と「弱み」を活かして、多くの事にチャレンジし、人生を笑顔で楽しんでください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

八組担任 東久保雅弘先生

「祝・卒業」

激変・激震の高校三年間が終わろうとしています。翻弄されながらも時は流れ、皆さんは卒業を迎えました。これからも同様で、世の中は変化し続けます。臆せず新たな一歩を踏み出すことから始めて下さい。
八神純子というシンガターの「Take a chance」という楽曲があります。やる気を鼓舞して元気をくれる曲です。折れそうな時に聞いてみて下さい。そして、歩みを止めないで下さい。卒業おめでとうございませす。

学年係 大久保里美先生

卒業おめでとうございませす。私は、理型以外の皆さん方とは、あまり馴染みがありませんでしたが、PTA活動を通して保護者の方々と共に生徒の皆さんを見守ることができました。PTAとして生徒たちがよりよい学校生活を送るために、どのような援助や協力ができるのだろうか、いつも皆さんへの愛情あふれる保護者の方々の思いを身近で感じてきました。皆さんをここまで育て支えてくださったお父さんやお母さん方への感謝の気持ちを忘れずにください。そして自分の進むべき道を邁進してください。皆さんの前途に幸多かれとお祈りしています。今年度はコロナで、多くのPTA活動が行われなくなりましたが、そのような中でも、保護者の皆様方にご協力いただきながら、有意義な活動ができましたこと、心から感謝しております。

七組担任 村田健先生

卒業おめでとう。

僕がこの一年だけでしたが、今年度はコロナ禍ということで、退屈や不安を感じるものが多かったと思います。僕自身、昨今の情勢に対しての不安感を抱えたまま、日々を過ごしました。そんな中で、それぞれの進路の目標に向けて頑張ったり、友達と楽しく過ごしたりしている皆さん。姿には何度も励まされました。「まだまだ大丈夫だ。自分も頑張ろう」と思うことができました。本当にありがとう。この一年を皆さんと過ごせて良かったです。卒業おめでとう。

一組担任 中井順一先生

卒業おめでとうございませす。長い間はどうでしたか。君たちの中に、黒板に書かれていたことが「学び」のことをノートにとるのが「学び」のことだと考えていませんか。教科書に書かれていることや、先生が言ったことが常に正しいとは限りません。「学び」とは、本や授業などで得た情報を自分なりに消化し、自分なりに再構築していくことだと思えます。これからもずっと学んで、自分を高めて欲しいと思います。

一組担任 古田生美子先生

卒業おめでとうございませす。

人は、「過去」や「未来」のことを考えている時、心が時間旅行をしているので、不安になることがあります。一方、「現在」、「目の前」のこと